

心肺蘇生法

～ 覚えてください。まずは、あなたの大切な人のために… ～

①意識があるか確認



②119番通報とAEDの手配



③意識(反応)と呼吸がなかったら…

人工呼吸を2回
(1回1秒かけて吹き込む)

+

胸骨圧迫を30回
(1分間に100回のテンポで)

“これを交互に繰り返す”



AEDが到着

- ①電源を入れる。(ふたを開けると電源が入る機種もあります)
- ②患者にパッドを装着し、コードを接続する。(はじめからコードがつながっている機種もあります)
- ③患者に誰も触れていないことを確認し、通電ボタンを押す。
- ④AED 1回使用后、すぐに心肺蘇生法を再開

※AEDは、音声ガイドに従って操作してください。どなたにも簡単に使えます。

長門市内におけるAEDの設置状況については『長門市消防本部ホームページ』をご覧ください

<http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/~shobo/>



AED (自動体外式除細動器)

あなたは、なにができませんか？

もし、自分の家族や友人が目の前で倒れたとき



救急車を正しく使いましう！

全国的に救急車の出場件数が増加するなか、緊急性のない出場要請も増えています。救急車は市民の皆さんの生命を守る

もし、あなたやあなたの家族が突然倒れて救急車を要請した時、出場可能な救急車がなかったら…、それが、緊急ではないのに要請された現場に出場していたら…どう思われますか？

救急車は、けがや急病などで緊急に病院へ搬送しなければならぬ傷病者のためのものです。明らかに緊急性がない場合は、自家用車やタクシーで病院に行かれるなど、適正な救急車の利用にご理解とご協力をお願いします。

救急搬送人員についても852人と、昨年同期に比べ68人増加しています。このうち、入院の必要のない軽症者が338人と約4割を占めています。また、救急種別ごとでは、急病によるものが59件と大半を占め、次いで一般負傷が130件、病院から病院への転院搬送が74件、交通事故が62件、そのほか、自損行為、運動競技事故、労働災害事故、加害、水難事故と続いています。

24時間いつでも出場できる体制をとっています。出場でできる台数や救急隊員の数には限りがあります。緊急ではないのに救急車を要請されると、本当に救急車を必要とする事故が発生した場合、遠くにいる救急車が出場して到着が遅れたり、「出場できる救急車がない」といった事態も起こりかねません。

救急出場件数急増！

長門市管内における平成21年上半期の救急出場件数は、6月30日現在で902件となっています。これは、昨年同期に比べ、87件増加しており、

救急医療週間 9月6日(日)～12日(土)

9月9日は「救急の日」

助かる命を助けるため、救急車の適正な利用をお願いします

